

西河技術経営塾研究科前期 講義録 TA10

作成：瀧川 淳

**日時**：平成 29 年（2017 年） 10 月 23 日（月）午後 5 時 00 分 ～ 午後 5 時 50 分

**場所**：アーネスト育成財団内会議室（渋谷区代々木 1-57-2 ドルミ代々木 704 号）

**講師**：小平和一郎

**研究生**：瀧川 淳

**講義名**：(TA10) <sup>1</sup>「研究課題論文について目次案の検討」

## 講義内容

### 1. 概要

第 10 回目 (TA10) の講義 (研修) を行った。内容は以下の通り。

・研究課題について目次案の検討を行い、小平との共著を前提とした論文の骨子についてディスカッションを行った。

・今後、具体的には、ケーススタディとして、筆者が当事者であるエヴィクサー社の「音響通信 Another Track - 明治座 SAKURA プロジェクト」、アーネスト・ワン社の「QUIE (クワイエ)」を基に、エンジニアリング・ブランド構築過程の類型化に取り組んでいく。

### 2. 小平からの要望とフィードバック

#### (1) 要望

今回の研究課題のメモとこれまでのやり取りから、書こうとしている内容は理解できるが、どういう仮説を検証し結論を導き出したいのか分からず、論文の体裁をなしていない。

①目的や問題意識、②仮説の検証と結論すなわち研究によって得られる成果、③先行研究すなわち今までの成果、といった要素を具体的に書き出して、もっと論文の構成を意識してほしい。

#### (2) フィードバック

『コトラーのマーケティング 4.0 スマートフォン時代の究極法則』(朝日新聞出版、2017) に見られるカスタマー・ジャーニーの類型化をヒントにしながら、顧客対話型で取り組むシーズからニーズの掘り起こしの類型化に取り組むとよい。また、先行研究は、Ingredient Branding (要素ブランディング)、需要表現、知識経営、小平の唱えたエンジニアリング・ブランドによる市場の創生などをカバーするとよい。

### 3. 次回までの宿題 (前回から同様の内容で継続)

(1) 第 17 章についてアジェンダの完成 (担当講義回まで推敲)

(2) 上記研究課題について引き続き推敲 (論文スタイル)

### 4. 次回日程

(1) 次回日程 11 月第 2 週を目処に追って調整

(2) 参考資料

『戦略的ブランド・マネジメント 第 3 版』(2010 年) 『戦略的ブランド・マネジメント』(2004 年)、ケビン・レーン ケラー著 東急エージェンシー

以上

---

<sup>1</sup> (注) TA01 : TA とは、Takigawa のこと。01 は、1 回目。第 2 回は、TA02 となる。